

ダイコン根部障害の原因を解明しました

本県の夏ダイコン産地において根内部が黒変する障害（黒芯症）が発生しています。黒芯症は外観から内部の黒変の有無が判別できないため、大きな問題となっています。そこで、当センターでは黒芯症の発生原因の解明とその防除対策について検討しました。

1. 黒芯症(根内部のみ黒変する)の発生原因の解明



分離

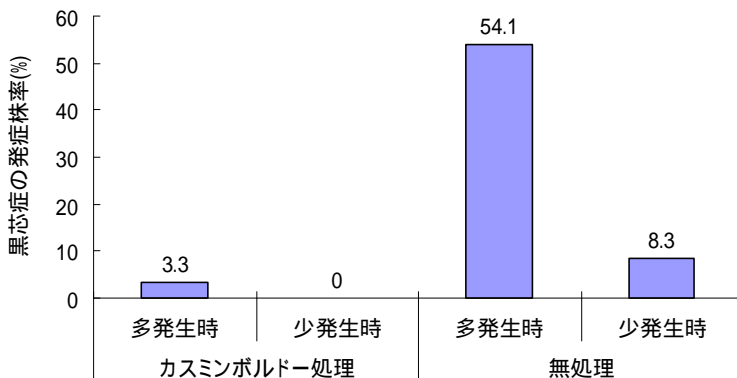


同定

黒芯症の原因菌は黒斑細菌病菌 (*Pseudomonas syringae* pv. *maculicola*) であることが明らかになりました。

分離細菌をダイコンへ接種し、黒芯症を再現
分離細菌の細菌学的性質を調査

2. 黒芯症に対する防除対策



カスミンボルドー散布は黒芯症の防除に有効！



黒芯症が発症する時は、生育時期に葉に黒斑細菌病の病斑が観察されます。

(研究成果)

- ・黒芯症の原因菌は黒斑細菌病菌 (*Pseudomonas syringae* pv. *maculicola*) であることが明らかになりました。
- ・黒芯症が少または中発生の場合は、カスガマイシン・銅水和剤（1,000倍液）を播種約2、3、4週間後の3回散布することで黒芯症の発生を抑制できます。
- ・生育時期に葉に黒斑細菌病の病斑が観察される時は、収穫時期に黒芯症が発症する危険があります。
- ・現在、病原菌の感染経路および農薬以外の防除法について研究中です。